

町民と議員のタウンミーティング in 下辰野区 まとめ

辰野町議会議員
栗林俊彦、本田光陽

開催日時：令和7年2月2日(日) 10:00~11:40

開催場所：下辰野公民館（辰野町辰野1767-2）

参加人数：下辰野区17名、議員13名



【主な意見交換内容】

◇地域の現状と人口動態

区長より地域の現状について報告があり、下辰野区の高齢化率は約52%で2人に1人が65歳以上である。後継者不足、少子化により人口が大幅に減少している状況が説明されました。

◇野生動物対策

区民からは野良猫の繁殖問題、カラスによる生活被害、猿による農作物被害など、多岐にわたる環境問題が提起されました。

- ・ カラスによる生活環境被害の深刻化
- ・ 野良猫の繁殖問題と不妊手術補助制度
- ・ 有害鳥獣(サル等) による農作物被害への対策の必要性

議員からは、野良猫の繁殖対策としては、不妊手術の補助制度（年480頭分の予算）の活用、保健所との連携、野良猫に餌をやらないなど地域住民との協力の必要性が提案されました。猿対策については、有害鳥獣駆除対策協議会による被害防止対策の中でも防護柵・電気柵の設置や音による追い払い等の対策の継続実施が重要との説明がありました。

◇商店街活性化

商店街の活性化について、特に新規参入者と既存商店との関係性が議論され、若い事業者の参入による新しい取り組みと既存商店の間での理解不足が課題として挙げられました。

- ・ 空き店舗活用とトビチ事業の現状
- ・ 既存店舗と新規参入者との関係
- ・ 地域おこし協力隊の活動と地域との関係

議員からは、商業活性化と地域振興のために既存商店街と地域おこし協力隊の連携強化の必要性和対話の場の設定、両者を繋ぐコーディネーターなどの設置などが提案されました。

◇インフラ整備と農業振興

駅前道路拡幅工事の進捗状況、農業用水路の老朽化対策、林道の補修などインフラ整備に関する多くの要望が出されました。特に農業関連では、高齢化による担い手不足、農地の貸し借りの困難さ、水路管理の問題など、具体的な課題が提起されました。

- ・ 駅前道路拡幅工事、県道町道の整備計画
- ・ 農業用水路の老朽化対策、林道の補修
- ・ 高齢化に伴う担い手不足、農地整備

町道4号線の道路拡幅工事(辰野駅～清水橋)に関する地権者同意取得の推進、道路整備に関する新たな協議会の設立と要望の取りまとめ、農業用水路の補修・整備に関する実態調査と対策案の作成など、これらの課題に対して、行政と議会による継続的な取り組みの必要性が確認されました。

◇公共施設に関する提案

辰野ほたる童謡公園など交通の要所に道の駅設置、ユニークセンターに露天風呂の設置、駐車場整備など公共施設に関する要望が提案されました。

- ・ 道の駅設置の要望(辰野ほたる童謡公園の駐車場)
- ・ ユニークセンターの施設改善(露天風呂設置等の提案)
- ・ 荒神山スポーツ公園全体の駐車場整備の必要性

南箕輪村の道の駅「大芝高原」の事例を参考に設置の可能性について検討。ユニークセンターの利用促進策、施設全体の魅力向上を図るための改善案などが話し合われました。



【今後の検討事項】

人口減少や住民の高齢化が進む中において、住民の声をより反映させた政策立案や、地域の活性化と持続可能性を高めるための具体的な施策の検討が求められる。

- ・ 既存商店街と新規事業者との連携強化
- ・ 公共施設とインフラ整備の計画的な実施
- ・ 農業振興、農業支援体制の強化
- ・ 環境問題と野生動物、有害鳥獣対策
- ・ 防災安全対策の充実、地域住民への情報共有

※今回のタウンミーティングを通じ区民の皆様と議員が意見交換を行い、地域課題を共有する貴重な機会となりました。また、下辰野区が直面する様々な課題が明らかになり、今後の対策に向けた議論の基礎が築かれました。

以上